

腹腔鏡下右半結腸切除術を受けられる患者さまへ

手術の開始時間は
()時頃です

患者様用

患者氏名：

受持医：

受持看護師：

月日(日時) 経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日～5日目	手術後6日目	手術後7日目～(退院)
達成目標	◆術前腸管内の清浄化が行え ◆退院基準を理解し同意する ◆手術の必要性を、患者・家族が理解し同意する	◆手術の準備が整っている	◆洗腸後十分な排便が ◆手術の準備が整っている	◆体温が38.5℃以下である ◆創痛がコントロールできる ◆手術創から出血がない ◆循環動態が安定している	◆体温が38.5℃以下である ◆創痛がコントロールできる ◆手術創から出血がない ◆腹部膨満がない ◆飲水が始める ◆離床できる	◆体温が38.5℃以下である ◆腸蠕動が回復し排ガスがある ◆腹部膨満がない ◆創痛がコントロールできる ◆創の発赤・腫脹がない ◆尿道カテーテルを抜去できる ◆排尿が良好で排尿障害の自覚がない ◆室内歩行ができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆消化器症状がない ◆排便がある ◆創痛がコントロールできる ◆創の発赤・腫脹がない ◆室内歩行ができる ◆食事が開始できる ◆食事が3割以上摂取できる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆消化器症状がない ◆排便コントロールができる ◆食事が5割以上摂取できる ◆室内歩行ができる ◆創痛がコントロールできる ◆創の発赤・腫脹がない	【退院基準】 ◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆消化器症状がない ◆歩行ができ日常生活に支障がない ◆退院後の生活、転院について理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	14時に下剤を内服します	14時と21時に下剤を内服します 眠れない場合は睡眠薬を内服します 夕方から点滴を行います	()時頃から手術の準備をします	点滴をしています	1日持続した点滴が手術後4日目まで	手術後2日目まで持続硬膜外麻酔用カテーテルが入っています			
処置		腹部の除毛と臍処置を行います	朝6時頃に洗腸を行います 弾性ストッキングを装着します		トイレ歩行が可能であれば弾性ストッキングを除去します 必要時創部の消毒を行います	尿管を抜きます			
検査					手術後1日目、3日目に血液検査とエックス線撮影をします 手術後1日目、3日目にレントゲン撮影をします				
活動 安静度	制限はありません	制限はありません		ベッド上安静です	ベッドの横に立ち回りを歩きます	トイレや洗面所まで歩きます 手術後1日目より制限はありません	制限はありません 		
食事	低残渣食です 牛乳や乳製品は飲めません	夕から絶食です 飲水はできます	朝から絶食です 		許可があれば水やお茶を飲むことができます		術後4日目から5分粥が開始 お粥から少しずつご飯に変わります	術後6日目から常食が開始	
清潔		除毛後に入浴してください			看護師が体を拭きます		許可があればシャワー浴ができます		
排泄				尿管が入っています		尿管が抜けた後はトイレに行くことができます			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ指導 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画と手術について説明いたします 看護師から入院生活について説明いたします 麻酔医が診察いたします 手術室看護師が訪問いたします 薬剤師が薬について説明いたします 手術に必要な腹帯1枚を準備してください 腹帯は売店にあります 入院費に関するご心配がありましたらお早めに4階6番窓口にご相談ください			手術後、受持医がご家族に手術の結果を説明いたします 痛みがあるときは鎮痛薬を使用します				退院後の外来受診で主治医が今後の治療について説明します 治療食の場合、管理栄養士が食事について説明いたします 看護師がパンフレットを用いて退院後の生活について説明いたします 退院後は入浴可能です	

注1 入院期間については現時点で予想される期間です。

国立病院機構熊本医療センター 外科 2021年12月作成